

大会決議実践、「すみやか」署名推進ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/>

【2006年8月31日】 NO. 1

“原爆の火”の星野村 村はじまって以来、「すみやか」 署名に4割の村民がサイン

世界大会を前にした7月、「原爆の火」が灯る福岡県・星野村で、藤崎正昭村長のよびかけで、全世帯に「すみやか」署名用紙が配られました。

8月末の集約で1428筆の署名が集まりました。これは、村人口の4割、有権者数で見るとちょうど2人に1人が署名したことになります。

署名集約を担当した星野村役場総務グループ総務班の石橋信輝さんは、「各行政区長にお願いして核兵器廃絶の署名を各世帯に配ったことは、村政でもはじめてのとりくみでした。集まった署名の数は過半数には達していませんが、それにしてもよく集まったと評価しています。『原爆の火』をもつ星野村としての役割を少しでも果たすことができたと思います。」「今後、村民参加型の平和のとりくみをすすめる上で、大変良い経験になった」と語りました。

全国各地で活発に報告会！ 大会代表を中心に署名すすむ

世界大会からまもなく1カ月余、全国各地で世界大会報告会が活発に開かれています。

埼玉土建一般労働組合は、ことしの世界大会に62名の組合員を派遣。そのうち11人が「世界青年のつどい」に参加しました。いま各支部で報告集会が開かれ、世界大会参加者が先頭にたって署名にとりくみ、20支部から3万筆を超える署名を集約しています。

新婦人埼玉県本部は、この夏、6・9行動や高校前や夏祭り行動、1900回を超える憲法改悪

を許さないポストイン・訪問活動などで「すみやか」署名にとりくみ、8月25日現在、会員数を超える1万1176筆に到達。県本部副会長で平和担当の玉井さんは、「世界大会に参加し、各国政府と自治体、そして私たちNGOとが核兵器廃絶という人類史的課題でゆるぎない連帯をひろげていることに感動し、『すみやか』署名を草の根にひろげることの大切さをあらためて確認しました」と語り、10月の国連総会への署名提出にむけて、9月末までに1万5000筆に到達させる決意です。

自治体首長・議長の署名を国連へ

日本原水協は、「すみやか」署名の国連提出にむけて、昨年のNPT再検討会議のときと同じように日本の自治体住民の多数を代表する首長・議長の署名の賛同を集めることを重視し、働きかけを強めることをよびかけています。

8月31日現在、431首長、244議長から賛同が寄せられています。北海道、奈良などでは国民平和大行進での要請などを通じて署名をひろげ、過半数の自治体首長から賛同を集めています。

自治体首長・議長を訪ね、世界大会の成果を報告し、「すみやか」署名への賛同をひろげましょう。

米未臨界核実験に抗議！

アメリカによる23回目の未臨界核実験の強行に抗議し、米大使館には、日本原水協、東京、埼玉各県原水協、全労連、全教、民医連、平和委員会、民青同盟、新婦人の各団体が抗議文を手交。北海道では在札総領事館に抗議、兵庫では抗議の街頭宣伝など、全国から抗議の声を集中しました。

各地のとりくみの情報をお知らせください。